

# うるわし通信



令和8年1月

## 本年は、市制施行70周年 桜井の将来像を語る～市長にインタビュー～

桜井市誕生から70年の節目を迎える本年、市行政の取り組みについて、市長にインタビューをおこなった。また、今後の桜井市のまちづくりのグランドデザインを確立して、市民参加の新しい未来像を創り出すために「うるわしの通信」編集部と、松井市長との意見交換の機会ともなった。今後の市と市民、諸団体との協働の取組みが一層進められることを期待したい。

### 市長へのインタビューと意見交換

インタビューは、12月22日（月）午後から市役所市長応接室でおこなわれ、本会より堀井良殷理事長と広報担当「うるわし通信」編集部の東俊克・楠木克弘 両理事が参加した。諸課題について予定時間を過ぎる活発な意見交換の機会ともなった。



### ◆松井市政15年目を迎え、4期目の市長のビジョンと抱負について

#### 【市長】「市のポテンシャルの活用で、中南和地域のハブシティーとしての役割を担う」

15年前（平成23年）の市長就任から現在の第4期に至る取組みを通じて、県との連携協定などで「にぎわいのあるまちづくり」に努めて来ました。いま、まちづくりの花は、つぼみが膨らみはじめて、花を咲かせる準備の段階であると思っております。

今後は、『山の辺地域』と『飛鳥・藤原地域』の歴史資産を繋ぐ拠点の「まち」として、中南和地域の歴史・文化・観光の「ハブシティー」として、現代風に甦がえらせたいと考えています。このことが、経済や社会の好循環を生み出すことに繋がります。

併せて纏向遺跡ガイダンス施設を中心としたエリアの「纏向遺跡周辺まちづくり基本構想」を今年度内に策定する予定です。

【編集部より】現在、基本構想案についてパブリックコメント（意見募集）がおこなわれている。締切1月21日（水）

## ◆急速な今後の人口減少の進行が予想される(2050年の予想人口35,731人)中で 消滅しない桜井市をめざすために、どのような桜井市の将来像を示されますか？

### 【市長】

国の「地方創生2.0」でも人口減少を正面から受け止め、それを前提とした対応策が求められており、桜井市としても10年前に策定した「人口ビジョン」を改訂し、市総合計画の「後期基本計画」を策定中で、今後5年間に4つの「戦略的プロジェクト」を進めます。(後述)

しかし、人口の自然増・社会増も厳しい状況であり、行政の取組みだけで出来るものではありませんので、市民の皆さんをはじめ産業・民間・学識・言論等々の関係の方々との連携協力が欠かせませんし、市の取組みもこれまで以上にしっかりと発信していきます。昨年度実施した市民アンケートでは、市の総合計画の冊子を見たことがない人が9割近くあり、市民目線での「取組みの見える化」をして、しっかりと舵取りを進め、継続的に事業が実施できる好循環を生み出し、2050年で約38,000人を維持したいと考えています。

うるわしの会の皆さん方の協力もよろしくお願いします。

【桜井市の人口ビジョンに見る  
人口推移予測】



## ◆70周年を機に30年後の桜井市のあるべき姿を描き、グランドデザインを考える 発想を変えれば厳しい未来に明るい姿が見える【本会より提起】

折角の70周年の節目ですから思い切って30年後の桜井市の姿をイメージしてみたいと思います。現実に人口3万人台に減少し「消滅都市」ぎりぎりのところに落ち込む厳しい予測があります。にもかかわらず明るい夢を描ける資産が実は地下に眠っていることに着目したい、それは纏向遺跡です。まだ2%しか発掘されていません。「日本の歴史を書き換える可能性が大きいこの地域を計画的に発掘すべきだ！」と元文化庁長官の青柳先生が最近コメントされました。考えて見ればローマの遺跡調査や、アンデス文明発掘調査など日本からの外国の調査は盛んなのに、肝心の我が国のはじまりの全容解明が遅れているのはおかしいと言えます。外国の発掘調査は、雇用を生み観光を刺激し、まちづくりと一体となって高い経済効果を誘発するビジネスモデルが成りたち得ることを示しています。

崇神、垂仁、景行の三代の王朝やヤマトタケルの伝承地を含め纏向遺跡全域が計画的に発掘された30年後の夢の姿を思い浮かべてみましょう。記紀万葉神話の世界を実証する出土品の発見が相次ぎ、ニュースが連日報道されたとします。一帯は国営歴史公園となり、世界遺産に登録され、発掘景気で宿泊やレストランなど関連の施設が整備されることでしょう。実地見学会やセミナーなどが連日市内で開催され域内の空き家はおしゃれなレストランやギャラリーブックカフェなどに利活用され、雇用が生まれ、市内の各神社、仏閣史跡とも連携して経済活動が活性化していきます。こんな未来の姿は夢のようですが少なくとも「日本古代国家発祥の地の解明」という旗印を高々と掲げるだけでも、元気が出てくるのではないかでしょうか。



纏向遺跡から出土した犬の骨から製作された生体復元模型 愛称は「こまき」

## ◆先程述べられた「戦略的プロジェクト」とは、どのような取組みですか？

### 【市長】

市総合計画の後期基本計画は、《はじまりの地から未来へ 歴史と自然がいきづく万葉のふるさと 桜井》を将来都市像にして、4つの重点課題を中長期的に継続して実施していきます。

①魅力的な働く場を創る活力のあるまちづくり ②地域資源を活かし賑わいを育むまちづくり  
③子育て世代に選ばれ子どもが輝くまちづくり ④誰もが安心して快適に暮らせるまちづくりに取組みます。市の財政を考慮して、①と②を強化して財源を生み出し、③と④の事業が継続的に実施できる好循環をめざしています。

今年は、市制施行70周年を迎ますが、30年先に振り返って、あの時に進めた政策が役に立った、効果があったと言ってもらえるように、しっかりと進めたいと思っています。

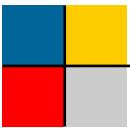
## ◆桜井での20歳から39歳の青年期の歯科検診の取組み(ぜひ活用を)

### 【市長】

奈良県全市町村では県国保連合会の取組として、特定健康診査を受診した国民健康保険被保険者のうち、「食事を噛むこと」の問診項目に課題がある場合、個別に勧奨通知を出して、歯科受診を促す取組を令和4年度から実施し、歯科口腔保健の対策強化をおこなって来ています。しかし、19~39歳までの青年期においては、その世代のすべての人に対する歯科健診に関する制度が無いため、健診の機会が無い方も多くおられます。

そこで桜井市では、学校での歯科健診が終わり、なかなか歯科健診を受ける機会の無い20代・30代の方に定期的に歯科健診を受けていただきたいという思いから、20歳から39歳までの市民全員を対象とした歯科検診を令和7年度からスタートさせました。約4,000円相当の検診が無料で受けることができます。

市民の皆様には、ご自身の歯や口腔の健康に関心を持っていただく機会と共に、歯・口腔の健康が、全身の健康に結びついていることを広く啓発していきたいと考えています。歯周病は子どもから大人まで誰でもかかる可能性のある病気ですが、歯だけでなく動脈硬化や心臓病、早産など全身に悪影響を及ぼすことが明らかになっており、健康維持に向けて是非受診をして頂きたいと願っています。



## ◆インタビューに取り組んで

インタビューでは、進行する少子高齢化にともなう過疎化現象での「買い物難民・医療難民」や「耕作放棄地の拡大」等、地域の活力を維持するために今後の公共交通のあり方やまちづくりの具体的取組み（巻向駅周辺整備等）について、さまざまな意見交換をさせて頂いた。

市長からは「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録を起爆剤として、桜井への来訪者を増加させることによって新しいチャンスを創り出していくことへの期待が強く述べられた。

「通信」編集部としては、市の取組みの「一層の見える化」と、市民をはじめ関係機関との連携強化を通じて、「市民一人ひとりがまちづくりに能動的に関わっていく姿勢と、主体的に参加していく」（うるわしの会設立趣旨）こと、そして、未来への骨太のビジョンを持ち、併せて身近な場での1つ1つの成功体験を繋いでいくことが、本会の大切な役割であると再確認する場となった。

## うるわしの桜井をつくる会 理事懇談会報告

11月29日(土)17時から理事懇談会を開催いたしました

### 【懇談テーマ】

- うるわしの桜井をつくる会役員について
  - 桜井駅北口整備について
  - 桜井市市制70周年について
  - 松井市長インタビューについて
- 皆さんから多様なご意見をいただき、当会の今後の活動の参考になりました。



## 桜井図書館友の会

日時：令和8年1月24日（土）午前10時～12時

テーマの本：「少年が来る」韓江（ハン・ガン）（著）

2024年ノーベル文学賞受賞者



日時：令和8年2月28日（土）午前10時～12時

テーマの本：「いのちの初夜」北条民雄（著）

場所：桜井市市民活動交流拠点会議室（エルト桜井2階内）

問合せ先 南部 ☎ 0744-43-5949

会員以外の参加も歓迎します。



## 編集後記

市長インタビューは、午年を迎える市制施行70周年を契機に桜井市が飛躍するための「大胆なグランドデザイン」を含め、意見交換させて頂いた。

「正夢」に成るようにしたい。今後、本会の理事よりこれからを期待する「こんな夢を見た！！」という、各自の希望や取組みを投稿の形で紹介する予定。乞うご期待。（編集子 楠）

うるわし通信発行人  
ひがし俊克  
TEL:090-3652-8104

